

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月12日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東
 コード番号 7748 URL http://www.holon-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 張 皓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,267	44.2	1,443	77.8	1,428	76.1	968	71.6
2019年3月期	2,958	124.9	811	568.7	811	602.7	564	348.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	289.92	—	44.4	37.4	33.8
2019年3月期	168.99	—	38.5	29.4	27.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,269	2,624	61.5	785.89
2019年3月期	3,375	1,740	51.6	521.02

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,624百万円 2019年3月期 1,740百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	492	△112	99	1,573
2019年3月期	1,035	△61	△191	1,097

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	50	8.9	3.4
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	66	6.9	3.1
2021年3月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		24.1	

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△41.4	408	△71.7	401	△71.9	276	△71.4	82.88

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	3,340,500 株	2019年3月期	3,340,500 株
2020年3月期	380 株	2019年3月期	319 株
2020年3月期	3,340,161 株	2019年3月期	3,340,323 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、輸出は弱含んでおり、雇用情勢は改善してきているものの新型コロナウイルスの影響で消費の落ち込みなど深刻な影響が出ております。海外経済におきましても、米中の貿易摩擦、英国のEU離脱問題に加え、同ウイルスの流行により減速しはじめ先行き不透明な状況であります。

半導体業界におきましては、国際半導体製造装置材料協会(SEMI)は、2020年の半導体前工程装置の投資額について従来予想より7億ドル下方修正し、578億ドルになる見通しと発表しました。しかし、現在のところ、当社主要顧客におきましてはEUV露光に係わる設備投資は計画通り進む様相を見せ、当社受注への影響は特段ない状況です。

このような状況のもと、当社の主力製品であるフォトリソ用CD-SEM「Zシリーズ」や、フォトリソ用DR-SEM(観察および分析)「LEXaシリーズ」等を計画以上に売り上げ、2019年11月7日、2020年3月23日の計2回業績予想の修正を発表し、当初の予想を上回る業績を達成しました。

上記の結果、当期の売上高は4,267百万円(前年同期比44.2%増)となりました。損益につきましては、営業利益1,443百万円(前年同期比77.8%増)、経常利益1,428百万円(前年同期比76.1%増)及び当期純利益968百万円(前年同期比71.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて30.4%増加し、3,832百万円となりました。これは、電子記録債権が84百万円、未収消費税等が61百万円減少した一方、売掛金が579百万円、現金及び預金が476百万円増加したことなどによります。固定資産は、前事業年度末に比べて0.1%減少し、436百万円となりました。これは、投資その他の資産が5百万円増加した一方、無形固定資産が4百万円減少したことなどによります。この結果、総資産合計は、前事業年度末に比べて26.5%増加し、4,269百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて8.0%減少し、1,297百万円となりました。これは、未払法人税等が160百万円、1年内返済予定の長期借入金が71百万円増加した一方、前受金が246百万円、電子記録債務が102百万円減少したことなどによります。固定負債は、前事業年度末に比べて54.3%増加し、347百万円となりました。これは、リース債務が6百万円減少した一方、長期借入金が118百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて0.5%増加し、1,644百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて50.8%増加し、2,624百万円となりました。これは、利益剰余金が884百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ476百万円増加し、1,573百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は492百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額が496百万円、法人税等の支払額が283百万円あった一方、税引前当期純利益が1,400百万円、減価償却費が100百万円あったことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は112百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が86百万円、無形固定資産の取得による支出が25百万円あったことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は99百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が300百万円あったことなどによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	52.9	52.1	55.8	51.6	61.5
時価ベースの自己資本比率(%)	96.3	91.4	112.3	184.7	333.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	135.8	456.8	—	20.3	79.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	84.1	50.4	—	754.9	276.9

(注) 1 各比率の算定方法は、以下のとおりであります。

自己資本比率：自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 ÷ 営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー ÷ 利払い

2 2018年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

3 株式時価総額は、期末株価 × (期末発行済株式総数 - 期末自己株式数) により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、半導体業界は、中長期的にみれば引き続きEUVリソグラフィーの量産導入に対応した検査装置の需要拡大が見込めます。しかし、本来であれば5G普及により大幅に需要増が見込まれるタイミングであるスマートフォンなどの半導体関連製品につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、従来の期待に届かないことが予想されます。

当社は、より一層新規顧客開拓に勤しむことで、今後の更なる最先端設備投資に係わる需要を取り込みたいと考えております。

なお、当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

次期の年間目標につきましては、売上高2,500百万円、営業利益408百万円、経常利益401百万円、当期純利益276百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,218	1,593,341
受取手形	3,476	5,830
電子記録債権	143,856	59,070
売掛金	651,633	1,231,007
仕掛品	826,481	794,614
原材料	125,770	144,882
前払費用	3,171	3,447
未収消費税等	61,649	—
未収還付法人税等	3,734	—
その他	1,905	655
流動資産合計	2,938,897	3,832,849
固定資産		
有形固定資産		
建物	156,959	156,959
減価償却累計額	△126,313	△128,434
建物(純額)	30,646	28,525
構築物	720	720
減価償却累計額	△526	△558
構築物(純額)	193	161
機械及び装置	23,260	24,012
減価償却累計額	△14,687	△15,533
機械及び装置(純額)	8,572	8,479
車両運搬具	313	313
減価償却累計額	△313	△313
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	351,122	267,329
減価償却累計額	△203,380	△176,009
工具、器具及び備品(純額)	147,742	91,319
土地	57,774	57,774
リース資産	41,236	41,236
減価償却累計額	△17,113	△23,076
リース資産(純額)	24,123	18,160
建設仮勘定	—	63,280
有形固定資産合計	269,052	267,700

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	40,152	46,458
ソフトウェア仮勘定	18,587	7,698
無形固定資産合計	58,739	54,156
投資その他の資産		
投資有価証券	1,276	1,276
繰延税金資産	29,504	43,055
敷金及び保証金	73,722	67,813
その他	4,330	2,170
投資その他の資産合計	108,832	114,315
固定資産合計	436,624	436,171
資産合計	3,375,522	4,269,020

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	37,072	55,303
電子記録債務	280,079	177,860
買掛金	387,593	290,406
1年内返済予定の長期借入金	85,556	156,676
リース債務	6,778	7,046
未払金	72,169	76,988
未払費用	27,566	34,904
未払法人税等	202,367	362,507
未払消費税等	—	37,886
前受金	246,240	—
預り金	6,405	7,068
賞与引当金	30,794	35,970
製品保証引当金	26,018	49,496
その他	1,663	4,894
流動負債合計	1,410,304	1,297,009
固定負債		
長期借入金	97,510	215,834
リース債務	20,553	13,733
退職給付引当金	106,847	117,489
固定負債合計	224,910	347,057
負債合計	1,635,214	1,644,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金		
資本準備金	163,754	163,754
資本剰余金合計	163,754	163,754
利益剰余金		
利益準備金	5,010	9,336
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	879,639	1,760,172
利益剰余金合計	884,650	1,769,509
自己株式	△458	△671
株主資本合計	1,740,307	2,624,953
純資産合計	1,740,307	2,624,953
負債純資産合計	3,375,522	4,269,020

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
製品売上高	2,657,630	3,872,860
その他の事業売上高	301,105	394,663
売上高合計	2,958,735	4,267,523
売上原価		
当期製品製造原価	1,454,555	1,956,162
ソフトウェア償却費	39,293	29,789
売上原価合計	1,493,848	1,985,952
売上総利益	1,464,886	2,281,570
販売費及び一般管理費		
販売手数料	138,558	196,280
役員報酬	62,086	69,300
給料及び手当	65,043	80,146
賞与	26,569	43,430
退職給付費用	2,322	4,499
賞与引当金繰入額	9,426	10,530
法定福利費	15,965	19,415
研究開発費	114,585	181,532
修繕維持費	5,193	12,309
販売促進費	14,839	3,734
減価償却費	23,601	6,622
支払手数料	26,732	31,325
製品保証維持費	33,302	36,205
製品保証引当金繰入額	12,955	33,863
その他	101,986	109,035
販売費及び一般管理費合計	653,167	838,232
営業利益	811,719	1,443,338
営業外収益		
受取利息	41	50
為替差益	503	—
その他	331	190
営業外収益合計	876	241
営業外費用		
支払利息	1,377	1,809
為替差損	—	12,154
その他	—	733
営業外費用合計	1,377	14,697
経常利益	811,217	1,428,881
特別損失		
固定資産除却損	0	18,079
補助金返還損	7,037	10,166
特別損失合計	7,037	28,245
税引前当期純利益	804,180	1,400,635
法人税、住民税及び事業税	198,509	445,823
法人税等調整額	41,204	△13,551
法人税等合計	239,714	432,272
当期純利益	564,466	968,363

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	692,361	163,754	163,754	3,340	333,545	336,885	△53	1,192,948	1,192,948
当期変動額									
当期純利益					564,466	564,466		564,466	564,466
利益準備金の積立				1,670	△1,670	—		—	—
剰余金の配当					△16,702	△16,702		△16,702	△16,702
自己株式の取得							△405	△405	△405
当期変動額合計	—	—	—	1,670	546,093	547,764	△405	547,358	547,358
当期末残高	692,361	163,754	163,754	5,010	879,639	884,650	△458	1,740,307	1,740,307

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	692,361	163,754	163,754	5,010	879,639	884,650	△458	1,740,307	1,740,307
当期変動額									
当期純利益					968,363	968,363		968,363	968,363
利益準備金の積立				4,325	△4,325	—		—	—
剰余金の配当					△83,504	△83,504		△83,504	△83,504
自己株式の取得							△212	△212	△212
当期変動額合計	—	—	—	4,325	880,533	884,859	△212	884,646	884,646
当期末残高	692,361	163,754	163,754	9,336	1,760,172	1,769,509	△671	2,624,953	2,624,953

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	804,180	1,400,635
減価償却費	126,865	100,723
固定資産除却損	0	18,079
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,464	5,176
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	8,771	23,477
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,622	10,642
受取利息及び受取配当金	△41	△51
支払利息	1,377	1,809
為替差損益 (△は益)	2,460	10,336
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,161	△496,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△468,531	11,374
仕入債務の増減額 (△は減少)	355,468	△181,174
前受金の増減額 (△は減少)	245,490	△246,240
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△37,061	61,649
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,663	41,117
預り金の増減額 (△は減少)	1,498	662
その他	45,207	16,021
小計	1,064,030	777,298
利息及び配当金の受取額	41	51
利息の支払額	△1,371	△1,778
法人税等の支払額	△27,202	△283,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,035,498	492,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,236	△86,025
無形固定資産の取得による支出	△34,660	△25,763
敷金及び保証金の差入による支出	△23,784	△686
敷金及び保証金の返還による収入	15,376	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,305	△112,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△45,000	—
長期借入金の返済による支出	△125,007	△110,556
長期借入れによる収入	—	300,000
リース債務の返済による支出	△4,943	△6,298
自己株式の取得による支出	△405	△212
配当金の支払額	△16,596	△83,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191,952	99,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,163	△3,740
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	781,077	476,122
現金及び現金同等物の期首残高	316,141	1,097,218
現金及び現金同等物の期末残高	1,097,218	1,573,341

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社は、電子ビーム技術を応用した製品・サービスの単一事業となっています。したがって、当社は、「電子ビーム関連」を単一の報告セグメントとしているため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社は、電子ビーム技術を応用した製品・サービスの単一事業となっています。したがって、当社は、「電子ビーム関連」を単一の報告セグメントとしているため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

関連会社がないため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	521.02円	785.89円
1株当たり当期純利益	168.99円	289.92円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	564,466	968,363
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	564,466	968,363
普通株式の期中平均株式数(株)	3,340,323	3,340,161

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,740,307	2,624,953
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,740,307	2,624,953
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,340,181	3,340,120

(重要な後発事象)

当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、固定資産(工場等用地)を取得することといたしました。下記のとおり、2020年3月4日に取得先と契約を締結しておりましたが、2020年4月1日に物件引渡が完了いたしました。

1. 取得の理由

当社は、工場の老朽化が進んでいること、また、今後のさらなる生産体制の充実及び拡大を図るため、2019年11月7日開催の取締役会において、工場建設用地を取得することといたしました。

前事業年度より、顧客の生産拡大に伴う当社への受注は増加しており、現在の当社の敷地では手狭になっております。今後、AI、5G通信など半導体をけん引するマーケットは益々拡大すると見込まれていることから、当社も早急に生産体制の充実及び拡大の見直しが必要となっております。

2. 取得資産の内容

資産の内容及び所在地	取得価額	現況
東京都立川市上砂町5丁目40-1 地積：2,930㎡	約5.5億円	宅地

3. 相手先の概要

先方との守秘義務契約により公表は差し控えさせていただきます。

なお、当社と取得の相手先との間には、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

4. 取得の日程

取締役会決議日	2019年11月7日
契約締結日	2020年3月4日
物件引渡日	2020年4月1日